

令和3年度

学校関係者評価報告書

学校法人増田学園千葉女子専門学校
学校関係者評価委員会
(R. 4. 2. 25)

令和3年度 学校関係者評価報告書

I 重点目標について

○令和3年度の重点目標

豊かな感性と表現力を持った魅力あふれる保育者を育成する。

○達成計画・取組方法

- 1 授業研究・教材研究に積極的に取り組み、指導面での充実を図るとともに**学びやすい環境を整備する**。
- 2 学生の資質や能力を最大限に引き出すための実践的な保育技術等の習得又は向上をめざす。
- 3 実習先との密な連携を図り、保育実習・教育実習・施設実習の充実を図る。

○学校関係者評価

学生の生活環境や健康管理への配慮など、コロナ禍における新しい生活様式を理解している校内環境であり、全体的にはよく取り組んでいることがうかがえる。指導体制の見直しを図りながら、更なる向上を努めていただくとともに、社会のニーズに応えられる保育者の養成に教職員が一体となって今後も取り組んでいただくことを期待したい。

II 各評価項目について

基準1 教育目標・理念

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 本校の教育理念・目的・育成人材像については、学生、職員に対して周知されており、外部に対しては、HPや学校案内等で紹介し、その浸透に努めている。</p> <p>2 また、保育科の教育目標、育成人材像についても、本校が特に重点をおいている表現活動やカリキュラムの充実を図りながら、本校としての特徴をアピールしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ HPのリニューアルで学校の特色と魅力をわかりやすく、外部へ発信できるようになると思います。 ・ 昨年度より評価は下がっている。コロナ禍での指導は難しかったと思うが工夫が見られた ・ 学校規模や生徒の現状を把握して指導方針を考えているところが最大の特色と感ずる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生や実習先との連携を一層図りながら、今求められている保育者像を追求し、その人材育成に努める。 ・ 新教育課程に基づくカリキュラムで実施して3年目が終わる。今後も主体的で共同的な学びを工夫し実践的な保育技術の習得に努めていく。

基準2 学校運営

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 年間事業計画にそった運営活動は、教職員の連携のもとで円滑に推進されているが、教職員間の重複した業務の整理が必要がある。</p> <p>2 授業科目ごとの出欠席や成績評価等の管理システムを導入し業務の効率化を図っているが、機能が多様なため、有効活用には職員への更なる周知を図る必要がある。</p> <p>3 学生指導においては、学年単位での早期の個別対応により成果が出ている面もあるが、さらに学校全体で連携しての体制づくりが今後も必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営組織の有効機能は、職員間の連携が進まない難しい。 ・ 職員同士の情報交換など、スムーズに行える環境づくりをしていると感じました。 ・ 業務整理と役割分担を明確にし、教員が研修に専念できる環境整備をしていることに感心しました。 ・ 気になる学生は増えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員間の役割分担と運営機能の明確化を図り、引き続き、重複した業務を整理していく必要がある。 ・ 学生ごとの各授業の出欠席や遅刻等の状況や気になる学生については、早期発見し2週間ごとに職員会議で共有できるようになってきた。今後も学年と学校全体で一層連携を図り個々の学生への対応を行うように努める。 ・ 今後も学生の生活指導に役立てていく。

基準3 教育活動

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 きめ細かな教育活動の実現を図るため、クラス担任制で授業を展開している。</p> <p>2 学習指導においては、保育者養成校であることをふまえ、具体的事例や実践的な内容に重点を置いて、より内容を精選しながら体系的に授業展開を行っている。</p> <p>3 就職支援の一環として、公立の保育園・幼稚園の就職をめざした公務員試験対策の学習会や面接指導を実施し、合格者を出すことができた。</p> <p>4 実習を終えた2年生が実習体験を1年生に報告する場を設定し、実習に向かう心構えや実習についての理解を深めることができた。</p> <p>5 教員の資質・指導力の向上のため、各種研究会や発表会への積極的参加と教育実践記録等の執筆を奨励している。また、文科省からの通知等はタイムリーに共有できた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担任制はクラスの団結力が強くなると思うので、良いことと思う。 ・様々な情報教材を駆使し、学びやすい環境が整っている。できるだけ実践を踏まえた授業展開を期待します。 ・目標に向かって努力している生徒へのサポートが手厚いと感じた。 ・コロナ禍で何もできないまま学生生活が終わり、社会に出ていく辛さを考えてしまう。 ・多くのことに挑戦し、最新情報を提供することを実践している。今後は実情に合った活動を行う方向でお願いしたい。 ・2校1園で情報共有をしたり、話し合いや振り返りの場を設けたりできる関係性を築き、互いに実り多い実習ができるような環境づくりができればと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理の授業内だけではなく、日常の資料作成やレポート作成においても、パソコンの有効活用の指導に努める。 ・1人1台購入したタブレット端末を遠隔授業だけでなく、動画作成や子どもの行動場面の分析等、有効活用に努める。 ・約30の保育所・幼稚園等の合同説明会を本校で行う際に卒業生も来校し、ブースごとに現場の生の声が聴ける機会があるが、継続と共に更なる工夫を凝らしていきたい。 ・教育実習に出るための要件の明確化とそれを意識した日々の教育実践を一層推進する。 ・本校研究紀要の発行回数を増やすことで、教員の実践記録等を掲載しやすくするとともに相互の研修意欲と資質の向上を図る。 ・文科省通知等は今後も早期に共有する。

基準4 学修成果

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 保育園・幼稚園・こども園等からの求人件数が今年も1,600件以上となり、希望者全員の就職をめざして取り組んでいる。</p> <p>2 履修不足の学生には補講授業の実施等、個別指導を行いながら、卒業予定者全員に初期の目的である保育士資格と幼稚園教諭二種免許状の両方取得できるよう指導の徹底を図っている。</p> <p>3 進路変更等による退学者が1名、腰痛の治療のため休学者が1名でたが、個別指導や相談等とおして、継続して学校生活を送れるよう、できる限りの環境支援を行ってきた。</p> <p>4 就職後の職場で、即戦力として活躍できるように、保育者としての知識・技術・技能の向上に努めた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で相当不自由を強いられている学生のサポートをしっかりとお願いしたい。 ・全員が資格を取得し、卒業できるように一人一人に目を向けて支援していただきたい。 ・細かい気配りができていると強く思った。 ・実習が多く、より実践的な授業展開が行われている。現場で要求される判断力とスピードについて指導の充実を図っていただきたい。 ・パンフレットに載せていない園の実態把握も大切であると思う。自分に合った園探しは難しいと思うが、卒業後3年間は、保育に携わってほしいと願う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任だけでなく、複数教員で就職相談や面接指導等を行い、サポートに努めている。 ・新型コロナの濃厚接触者となり、保健所の指示で授業を欠席せざるを得ないケースが複数あり、該当学生の補講については、今後も早めに対応するように努める。 ・コロナ禍のため、やむを得ず実習期間を縮減せざるを得ない状況であるが、学内実習の中に判断力やスピードを要求されるようなケースの指導の充実を図る。 ・コロナ対策は、常時換気、マスク着用、手指消毒、共有物の消毒等、教職員が率先して実践し就職後にも役立つものになっている。引き続き、即戦力になる人材育成に努める。

基準5 学生支援

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 クラス担任はじめ全職員できめ細かな就職指導やサポート体制をとっている。</p> <p>2 コロナ禍による経済的に困難な学生に対しては、学費の分納や「学びの継続」のための「学生支援緊急給付金」の利用を勧める等、その支援に努めた。</p> <p>3 新型コロナ対策として、日々の健康記録と毎朝の検温の実施及び健康対策として、年1回の健康診断を実施した。</p> <p>4 担任や関係職員、関係医療機関と連携し、保健医療体制をとっているが、学生の安全・安心の観点から更に保健衛生体制の充実が必要と考えている。</p> <p>5 こども園との連携によるキャリア教育・職業教育の伸長を図ることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • よいサポートができていると感じたが、卒業後については難しいものがあると感じた。 • 様々な課題が出てくると思うが、「健康な心と体」で学習できるよう支援して欲しい。 • 学生たちの雰囲気も落ち着いて、よい方に変わってきたように感じる。 • 校内がとても清潔に保たれており、コロナ対策もしっかりされていた。 • 今後もこども園等との連携の大切さを考え工夫し、推進することが学生の支援となる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 在学中に使用していたメール連絡システムを卒業後のサポートに活用できないか検討する • 学校生活における学生のメンタル面にも配慮しながら、保育者になるという目標を失うことのないようにサポートしていく。 • 今後も本校の新型コロナ対策を継続実施し、校内から感染者を出さないように努める。コロナ対策がよい方向に作用している。 • コロナ対策で改善された保健衛生対策をコロナ収束後も清潔に保てるように努めていく。 • コロナ禍における教育実習の内容変更がこども園との連携の工夫改善の場になっている。

基準6 教育環境

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 映像教材が各教室できる学習環境や必要に応じて利用できる絵本や保育関係書を整理・整備し学びやすい環境の具現化に努めた。一人一台のアイパッドは、今後も観察実習や記録画像の発表等に効果的に活用できると考えている。</p> <p>2 「環境教育」の一環として、四季折々の花を植え、花壇の整備を継続して行っている。今回は、千葉市より表彰された。</p> <p>3 前年度に引き続き、2年目となるが、毎日放課後、職員による教室、廊下、各階のフロアー、トイレの清掃を行い、環境衛生と美化に努めてきた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 情報機器を活用し、実習における活動にもつなげて欲しい。 • 各教室のスクリーン整備や机、いす等、環境に配慮されていることがうかがえる。 • ICT活用の基礎ができているように感じた。 • 季節にもよるが、学外周りのお花がきれいとても目を引く。地域としても誇らしい。 • 限られたスペースを上手く活用している。 • 学内外がとてもきれいです。学生も就職すれば、清掃、消毒は基本なので、どこかで切り換えを期待しています • 校内環境が整えられ、保育士養成校らしく明るく、温かいイメージに好感が持てた。 	<ul style="list-style-type: none"> • 教育課程に基づいた幼児教育に係る図書の整備を図るなど、学生の学習環境の更なる充実が必要である。1年生の観察実習には、今後もアイパッドを効果的に活用し、個々の観察力や発表力を一層高めていきたい。 • 植栽の後、学生が当番で水やりを行っているが、草取りなども進んで行えるような心を育てていきたい。 • 保育現場でも役立つことなので、学生も一緒に行うようにしたいが、感染再拡大・急拡大のため、そのタイミングがむずかしい。

基準7 学生募集

	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 学生募集については、募集担当の配置や高校への訪問、ホームページの活用、工夫を凝らしたオープンキャンパスの開催を継続的に行うことで、募集活動に努めている。</p> <p>2 継続して、高校訪問や説明会を行うにあたり、2年生の現役高校生を対象とした広報活動に力点を置いて取り組んだ。</p> <p>3 選考基準について明確に示し、その透明性を図り、選考や合否判定は適切に行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の専門性をアピールして、卒業生6000名が活躍している姿を伝えてほしいと思う。 ・学校の雰囲気がよく、志望者は多いと思いますが、毎年更なる努力を感じます。 ・ホームページは、カラーやデザインが優しくほのぼのとしていて素敵です。 ・礼儀正しい学生が多いので、学生が前面に出る説明会の開催が理想です。高校からの募集は大切にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者養成校としての実績を学校案内やホームページ、オープンキャンパス等でアピールしながら、継続的に学生募集に努める。 ・気軽に手にでき、内容を見てもらえるコンパクトな3つ折りのパンフレットを作成し活用を始めた。 ・次年度は11月にも高校2年生対象のオープンキャンパスを計画している。コロナが収束したら、授業で学んだものの発表や実習内容の説明等、学生に委ねたいと考えている。

基準8 財務

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 学生数や事業計画に則り、収支予算を計上し、財務基盤の確保に努めている。</p> <p>2 予算執行にあたってのチェック体制は学園本部でおこなっており、監査法人による監査を年3回受け、理事会等への報告をするなど、適切な会計処理に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染予防のための施設・設備の増設等大変だと思うが、努力されていると感じる。 ・学生数は、まず第一に確保したい。無駄はなくすべきだが、有効な活動には思い切って投資すべきと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は、学びやすい環境整備のために予算の有効活用を図った。 ・学校運営が円滑に進むように、今後も予算の有効活用と節減に努める。

基準9 法令遵守

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 授業科目の単位取得は、定められた基準や条件にそって厳正に運用している。</p> <p>2 個人情報保護に関する規程や関係法令等に基づき、学生の個人情報等の保護の対策をとっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・とても適切であると思われます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の教育課程変更に伴う学則の改正を検討している。 ・学生の個人情報等の保護対策は、社会の流れを見極めながら継続して対応していく。

基準10 社会貢献・地域貢献

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
1 本年度はコロナ禍で文化祭等の学校行事が中止になり、地域の方々の参加や招待ができなかった。また、近隣の保育園児を招いた交流も中止となった。	<ul style="list-style-type: none">・ コロナ禍でもできるだけ社会貢献、地域貢献できる活動を探してほしいと思います。・ 今は我慢の時、再開を楽しみにしています。・ 無理な開催より、安全第一で考えるべきで、適切な判断かと思えます。	<ul style="list-style-type: none">・ 学校行事が行えるようになったら、引き続き保育活動をとおして地域交流の充実を図る。・ 何もかもできない、中止ではなく、本年度は何に留意し、どんな対策をとれば実施可能かを検討しつつ、行った行事もある。

学校法人 増田学園 千葉女子専門学校長 様

令和3年度の自己評価表をもとに学校関係者評価委員会の委員に評価を実施していただいた結果、上記のとおりとなりましたので報告します。

令和4年2月25日
学校法人増田学園千葉女子専門学校
学校関係者評価委員会